

Heart

第99号

to

心から心へ

Heart

2023.6.10



さいたま市見沼区
オープンガーデン

2023年5月13日(土)~14日(日)

染めQテクノロジー研修会

2023年3月10日(金)



AOTSタイ研修セミナー

2023年3月3日(金)



生涯青春!!



新日本ビルサービス 第30期さわやかフォーラム

— 考働する集団を目指し、自立した現場を創っていこう! —



新日本ビルサービス株式会社 第30期さわやかフォーラム

2023年4月28日(金)



— ビルメンの先を見据えるプロ集団 —

新日本ビルサービス株式会社



第30期さわやかフォーラム開催

なぜ我々は働くのか



新日本ビルサービス株式会社 社長 関根 一成

さわやか社員の皆さん、こんにちは！お元気ですか！いつもありがとうございます！

5月は五月晴れ、バラが満開となる素敵な季節です。年々開花が速くなり、今年はゴールデンウィークに会社の花壇と自宅のガーデンもバラが満開の見頃となり、さいたま市見沼区オープンガーデン期間の5月13日〜14日まで何とか持ちこたえてくれました。ご近所の皆さんから「いつも綺麗にしています」と声掛けてくださり、小さな子供たちが「いい匂い！」と無邪気に喜んでいる姿を見て、本当に嬉しくなり、心がほっこりと温かくなりました。

第30期さわやかフォーラムの躍動

4月28日(金)快晴の中、「第30期さわやかフォーラム」を大宮ソニックスティ小ホールで多くのお客様とさわや

か社員さん208名のご参加で盛大に開催することができました。

開催の冒頭に新日本ビルサービス創立30周年ビジョン映像を視聴して頂き、ぶっつけ本番で現場訪問し、入社1年目の新入社員や、さわやか社員さんが仕事の喜び、遣り甲斐、生きがいを自分の言葉で語っている姿に、会場全体に大きな感動と共感の輪が広がりました。表彰式はチャレンジ賞9事業所、優秀賞4事業所(武蔵小金井シテイクロス・ウニクス鴻巣・島忠ホームズ草加舎人店・スパロイヤル川口)へ感謝を込めて表彰させて頂きました。

その後、優秀現場賞の取り組み発表を行うてもらい、最優秀現場賞はご参加頂いたお客様の投票で見事に「スパロイヤル川口」事業所が初の受賞となりました。

スパロイヤル川口は深夜と早朝の時間帯に清掃するので、冬は寒く暗い中の作業となります。ホースリールに蛍

光テープを貼って安全対策をしたり、湯垢でこびりついた汚れを落とし、細く狭い資材庫の整理・清掃・整頓で作業効率を高め、駐車場の植栽管理を自発的に行ってくくださり、ご利用になるお客様とオーナー様の高い評価を頂いています。受賞された堤幸子さんと井川悦子さんの「やったー！」というガッツポーズと満面の笑顔は、本当に素晴らしいかった！

堤さんの受賞スピーチが働く喜び、なぜ我々は働くのか、その真理が見事に語られています。

「本当に嬉しいです。この冬にサウナブームで、露天風呂の椅子が3個から25個に増えました。同じ時間帯で清掃するのにどうしようかなと思つた時に、第1回目以最優秀現場賞を取られた、〃時間短縮になりながら工夫して更に良い仕事を...〃の大宮宮町センタービルさんのことが頭に浮かびました。そ

れを皆に話し、大変だと思ったら、大変なので面白くなったねと思つてやろうよ！と言いました。それが本当に皆さんの気つきになり、改善提案となりました。本当にありがとうございます。そして、8人中6人がWワークになった中でも、今日一緒に来てくれた井川さんも、その一人です。今日は仕事を休んで一緒に来てくれました。あと、高齢の親を抱えながらも、私に出来る事は何でもするよ〃と言ってくれる良き仲間が居て今日を迎えました。本当に仲間感謝です。

今日が頂点だとは決して思っていない。目標だったことの一つが達成したと思っております。木村先生は、以前研修を受けた時に、〃5Sは本当に



最優秀現場賞
スパロイヤル川口事業所
堤幸子さん受賞スピーチ

キリがない」と仰っていました。ですから、これからも自分たちの働きやすい職場と、それから、お客様に喜んで頂くために頑張ります。ありがとうございます。」

堤さんの受賞スピーチを聴きながら涙が出てきました。さわやかフォーラムを通じてお互いに切磋琢磨して成長する場が生まれていることを本当に嬉しく思いました。参加された多くのさわやか社員さんから、「来期はエントリーします!」と沢山の声が上がりました。人間はきっかけさえあれば、いくつになっても挑戦できるのです。

感動は共鳴する

参加されたお客様からもお便りが続々と寄せられ、感動の輪が拡がり大きく共鳴しました。

「本日は記念すべき30周年の大イベントにお誘い頂き誠にありがとうございます。さわやかフォーラム」とは!? どんな内容なのか、ワクワクして伺いましたが一言では言い表せない位の感動的な時間を頂きました。参加させて頂き本当にありがとうございます。5Sとは、働く社員の為。現場で闘うさわやか社員の皆様をはじめ、御社の社員の皆様がとても活き活きとお話しをされている姿もそうですが、改めて

関根社長が皆様を想う心の在り方を目の当たりにし、胸が熱くなりました。

染めQテクノロジィ株式会社

江口 朋美様

「昨日は第30期さわやかフォーラムにお招き下さり、誠にありがとうございます。御社の歩みをVision.comで知ることができ、現場の皆さんの思いやりを組みを具体的な事例と共に体感することができました。4つの優秀賞から最優秀賞を選出する手法として、会場に参列された方々に投票して頂き決定する「アイディアを面白いと感じました。いきおい、プレゼンの仕方にも熱が入るでしょうし、さわやか社員の皆さんの真剣度が伝わってきます。

弊社でも「作業改善の取組み」を行っておりますが、どうしても、改善の指標が生産性であるとか、業績への寄与といったものに偏りがちで、仕事を通して個人の成長を促した”のような視点が欠如しているように感じました。早速、この反省を社内でも共有させていただきます。学びを深めていく所存です。会全体を通して、時が守られ、会場の空気はすがすがしく、規律と温かさ両立している”と感じました。本当にありがとうございます。

株式会社ワイズマート

代表取締役社長 吉野 秀行様

なぜ我々は働くのか

なぜ我々は働くのか…もちろん生活のためです。でも、さわやか社員さんは時給の世界で働いているのではありません。スパロイヤル川口の堤さん、井川さん達、さわやか社員さんは、真冬の寒い時期も、真夏の暑い時も、ひたすらにこびりついた湯垢を落とし、限られた時間の中で最高の作業効率を上げるために5S実践で不断の改善をされています。すると、今まで出来なかったことが出来るようになり、仕事が目白くなり、お客様から喜ばれ、働く仲間がお互いに感謝する素晴らしい職場が生まれます。朝起きて眠くて身体がきつくて、責任のある仕事、心から喜んでくれる人がいるから、ぱっと起きて今日一日を始めることができる、生きる力そのものになります。

僕は今年の5月4日の誕生日で満69歳になりました。朝3時半に起きて天風体操と野口体操で心身を整え、土日は市民の森から氷川神社まで1時間半ぐらいウォーキングしています。だから、心身を鍛えている方だと思いが、それでも年齢を重ねると様々な心身の不調が出てくるがあります。

誰でもいつも絶好調ということはありません。僕が自分自身を支えているのは二度と無い人生で一つのことを成



▲スパロイヤル川口のすばらしい仲間へ心から感謝します!!生涯青春!!

し遂げたい。業界トップクラスの素晴らしいお客様にもっと喜んで頂ける卓越した会社になりたい。そして何よりも愛する家族とさわやか社員さん、若い本社員が誇りを持って働ける会社、思っ存分に挑戦できる自由闊達な会社にするのがもの凄く大きなエネルギーになっていきます。

5月1日から第31期がスタートアップしました。5S(整理・清掃・整頓・スマイル・さわやか)実践し、2024年4月30日、第31期さわやかフォーラムに多くの事業所からエントリーし、「ファシリティに集う人々が愛と笑顔に包まれた躍動する世界の実現」に向けて、生涯青春!で挑戦しましょう。

第30期さわやかフォーラム 開催!

2023年4月28日(金) ソニックシティ小ホール

4年ぶりの全体開催となった第5回さわやかフォーラムは、75名のお客様をお迎えすることができ、総勢208名参加の、晴天に恵まれた第30期という記念すべき会となりました!!

▼照井常務の開会の辞



元気ですか~!!

いらっしゃいませ♪



▲31期生が場外でお出迎え!▲

川越胃腸センター・クリニックの小川卓様(右)と、京王プレッソイン石川智子様にご感想をいただきました▼

木村温彦先生の心温まる総評!



▲優秀現場賞の表彰式



▲息ぴったりの司会者! 太陽課長 & 伊藤マネジャー

浅見専務の閉会の辞▶



◀お客様にvision movieを視聴していただきました

▼タイムキーパーの山下マネジャー



最優秀現場賞 スパロイヤル川口



SPA Royal 川口

私たちの今期の目標は、5Sに取り組み
①情報を共有する
②自ら考動できる
を掲げ、
お客様が心身共に過ごされる憩いの場
を提供する

パリをイメージしたとても
オシャレな温浴施設です！

※掲示板の作成★支配人とも打ち合わせ★

1月に6回
現場で「やらせ」
とは有りません。70%以上
現場で実践し、70%以上
現場で実践し、70%以上

★掲示板にて、情報の共有！
もちろん、グループLINE
でも共有！！

①情報の共有

※掲示板の作成★支配人とも打ち合わせ★

★掲示板にて、情報の共有！
もちろん、グループLINE
でも共有！！

②自ら考動する

やり方わからない・・・
何処にあるんだろう・・・
どうしよう???
とりあえず、聞こう!

時間の無駄(#“D”)

★月に1度のミーティング

- 作業の流れ確認
- 資材の使い方
- 道具の管理方法
の確認を実施

資材の3S

安全管理の徹底

★ホースリールが重い！
キヤスターの取付！
※腰痛予防

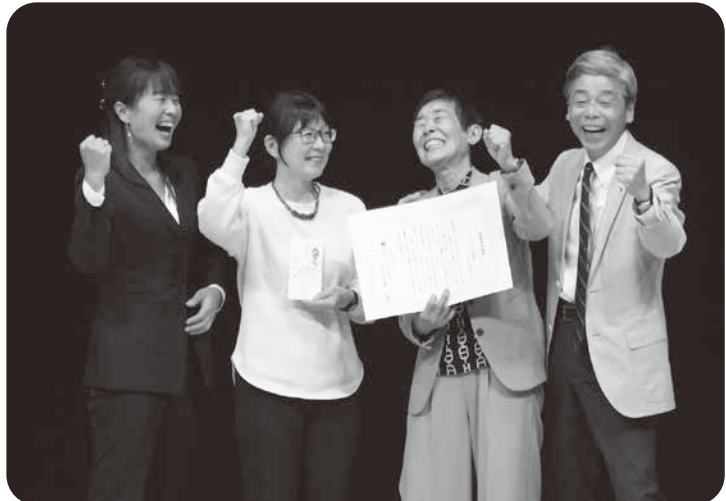
★階段への簡易テープ取付
置き留め
※夜中は暗い・・・

★高圧洗浄機コード
配線テープで置き留め

私たちがいつもお借りしている駐車場です

定期的な駐車場周り・入口回りの剪定を実施しております。
皆様からの「ありがとう」の言葉が励みになります！

おめでとう!



▲最優秀現場賞受賞に笑顔が溢れる浦澤マネジャー、井川悦子さん、堤幸子チーフ！

本社員発表

▼本社からは、毎月5S/清流化に取り組むサポート本部(左)と、品質開発部(右)から取組み発表がありました！

【対策後】文具の見える化・発注方法

どこに何があるか見えるように配置し、各文具に発注カードを配置した。

発注の流れ
発注タイミング
決定



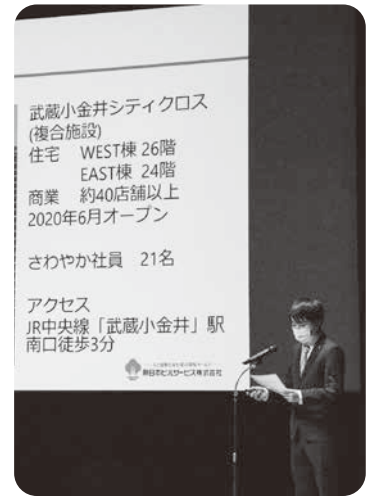
今後の展望

- 他部署との連携
-会社全体での共有の場にしていきたい！
- 若手社員が主体的に発信する時間を
-皆で楽しく成長し、考動できるチームを！

優秀現場賞 武蔵小金井シティクロス



◀ トップバッターは
緊張感Maxの伊東マネジャー



武蔵小金井シティクロス
(複合施設)
住宅 WEST棟 26階
EAST棟 24階
商業 約40店舗以上
2020年6月オープン

さわやか社員 21名

アクセス
JR中央線「武蔵小金井」駅
南口徒歩3分

作業効率化に向けて①

ゲストルーム清掃作業人数の変更

【問題点】

・3部屋予約すべて埋まっている場合、予定時間内に終わらず他の時間に対応しておりました。ここ最近では3部屋予約が入ることが多くなり、他の作業に影響が出てくると思われました。



作業効率化に向けて②

【ロボット導入後】

1名体制による
(ロボット稼働中にカーペット清掃、ガラス、手すり、EVボタンの各清掃作業)
清掃時間 1フロア12~15分



▶ 昨年に引続き安全第一の
寺島隊長の発表!



優秀現場賞 ユニクス鴻巣/警備



5. 防犯・安全活動

施設内に防犯・交通事故防止・サギ防止活動に協力!



6. 店内巡回・防犯対策

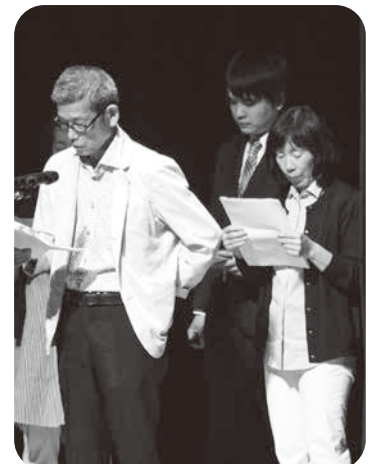
セルフレジ導入による防犯面からの人員配置と対応!



優秀現場賞 島忠ホームズ草加舎人店



◀ 小野サト子チーフの堂々とした発表!



▲ ドキドキ? 初壇上の
宮原勝美さん(左)と
高橋広美さん

みんなで知恵を出し合い

新しいシフトも組み直し
心機一転、スタートしました
改善・新しい試みにも挑戦しています



トレマークは陶器→
防汚洗剤の利用で清掃時間の短縮

人時削減前と変わらず床面はピカピカ



チャレンジ賞

▼大和エンタープライズ本社(上左)、ユナイテッドシネマ春日部(上中央)、FM NACK5(上右)、フィットネスクラブ広尾(下左)、のぞみ病院(下右)



◀受賞現場のさわやか社員さん揃って、生涯青春!!



▲YOT-TOKOのお土産♥

ご来場くださったお客様を感謝を込めてお見送りいたしました▶





■ マーケットシティ桐生

〒376-0011 群馬県桐生市相生町1丁目124-1 国道122号線沿い 駐車台数600台



▲豊富な品揃えの店内でゆったりお買い物



◀地域の皆様のライフスタイルにお応えする魅力的な専門店が集結しています！



プロパティマネジメント本部
根岸 正樹

皆さんこんにちは！今回は、絹織物の産地として発展し、かつては群馬県内最大の人口を誇る産業都市として栄えました桐生市にある商業施設「マーケットシティ桐生」様のご紹介をさせていただきます。

マーケットシティ桐生様は、わたらせ渓谷鐵道「下新田駅」から徒歩5分の場所に位置し、2005年11月にオープンした、生活提案型のショッピングセンターです。

食品スーパーのヤオコー様を核店舗とし、マツモトキヨシ様、ユニクロ様、しまむら様、靴のchiyoda様、ヒマラヤ様、ダイソー様、マクドナルド様、カスト様など、地域の皆様の衣食・住のニーズに応える大型商業施設です。

地域の行政をはじめとする様々な団体の情報発信・交流の場として様々な催事が行われており、大小さまざまなイベントやマルシェも開催されています。

当社は、2023年4月より、管理運営・設備管理・警備・清掃をお任せ頂いています。

ご来館くださる多くのお客様に、安心して、気持ちよくショッピングを楽しんで頂けるよう日々の対応をスタッフ一丸となっておこなっております。

皆さん、お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。



▲生涯青春！マーケットシティ桐生でお待ちしております！

▶地域の子どもたちとの交わりを
深めるワークショップ



▲埼玉県のご当地グルメ店が、桐生市との交流を
目的に参加



▶地元有名飲食店もまちづくり
を目的に絆マルシェに参加
◀音楽カルチャーも楽しめる
会場広場

マーケットシティ桐生

支配人 前原 豊



はじめまして、マーケットシティ桐生
支配人の前原豊と申します。

今年の4月から受託業務が始まり、
日々感じておりますのは、マーケットシティ桐生は、一カ所で
用が満たされるといふ利便性の大きな商業施設だということ
です。いつも朝から大勢のお客様で賑わい、活気であふれ
る中、私たちはヤオコー様をはじめ、各テナント様のパイプ
役の裏方として日夜力を注いでおります。今後も地域の多く
のみなさまに利用して頂けるよう努力してまいります。
上州桐生方面にお出かけの際は是非マーケットシティ桐生
にお越し下さい。スタッフ一同心からお待ちしております。

絆マルシェ～由来～

プロパティマネジメント本部 地域連携推進部 参与 佐々木 輝伸

マーケットシティ桐生にて、2021年より地域共創を目指してマルシェの取組がスタートしました。埼玉県内にて、こだわりをもって作られてきた品々と音楽などのカルチャーを国内中に広めて、その活動の場で地域まちづくりの原動力を生み出している「彩の国マルシェ」と連携することで、桐生市と埼玉県の人々の交流を活性化して、人と人の新しい絆を紡いでゆこうとするマルシェです。そうした思いを込めて「絆マルシェ」と命名され、いま地域の産学官民の連携を少しずつ繋ぎながら活動の輪を広めています。





“カラダとココロの五感を
満たすみんなに「心地よい暮らし」”

GRAND OPEN
3/30(THU)



■トーブイコート

〒340-0041 埼玉県草加市松原三丁目3番1号
東武スカイツリーライン「獨協大学前<草加松原>」駅
から徒歩12分



▲ヤオコー草加松原店
連日多くのお客様にご来店頂き賑わっています!!

▶ 買い物途中で、公園を望むテラスでひとやすみ。



プロパティマネジメント本部 三浦 仁志

皆さんこんにちは。今回は、東武鉄道株式会社様が2023年3月に開発されました、商業施設 トーブイコート様のご紹介をさせていただきます。

トーブイコート様は、敷地面積1.2ha(ヘクタール)、近隣公園と合わせると3haとなり、テナント総数24店舗の中型SCCです。

建物は、モールエリア(食品スーパー・クリニックモール)、テラスエリア(歩行者専用道路や近隣公園に面した飲食・サービス店舗)から構成されており、食品スーパーを核に、100円ショップ、室内ゴルフ練習所、美容室、医療機関、お客様の多様化するライフスタイルのディリーニースを満たす店舗で構成されています。

お買物やお食事ははじめ、家族や仲間達はもちろん、施設に訪れるお客様のコミュニケーションセンターとして、楽しい一時をお過ごしいただけます。

施設横には、松原団地記念公園があり季節によりマルシェの開催なども行われ、家族連れにも楽しめるスペースになっています。

公園内にはキッチンカーの出店もあり、お天気の良い日のお出かけにぴったりです。

この度、2023年2月20日より、管理運営業務、設備管理業務、セキュリティ業務、清掃業務をお任せいただいております。

常駐の警備員が、日常の施設管理業務を担っている施設のため、警備士(隊長)が管理も同時に任ざれて行っています。

東武鉄道株式会社様とは、東武ビルマネジメント株式会社様を通して、業務の報・連・相を行い密に情報共有を行っており、風通しの良い関係性が構築されています。多くのお客様に安心してご来店いただき、気持ちよくお買い物を楽しんで頂けるよう今後も頑張っていきたいと思っております。

皆さん、お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。



◀▲晴天の中行列をなすイタリア料理店やコーヒーショップ。他にも沢山の魅力的な24店舗が軒をつらねます!!

**「Foodie」, 「Design」, 「Culture」, 「Wellness」の
4つのライフスタイルをテーマに、生活を豊かに彩る場所**



▲子ども体験教室は、ママも大喜び。

▶
地域の皆様の健康的で豊かな生活を支えるウェルネスゾーン



▲トーブイコート東側に広がる近隣公園は保育園・幼稚園児の遊び場や獨協大学生、近隣住民が集う賑わいの拠点です。

▼トーブイコートへ是非お立ち寄りください!! 私達がピカピカに磨き上げてお待ちしております!!



▲厳正な警備とおもてなしの両輪でいざ!!

ホテルアソシア新横浜様



横浜支店 支店長 関根陽太郎

こんにちは！今回は本年4月より設備管理業務をご契約いただいたホテルアソシア新横浜様をご紹介します。当社では常駐設備業務として、年間365日設備管理業務を担い、設備の維持管理と客室の修繕を実施しております。

総支配人加柴様、支配人野田様、日頃ご担当いただきありがとうございます仁井田様をはじめ多くの方にお世話になっております。ホテルアソシア新横浜様はJR新横浜駅に

直結しており、新横浜駅は3月18日に「相鉄新横浜線」と「東急新横浜線」が開通。都心方面へのアクセスも良くなりました。また横浜アリーナや新横浜ラーメン博物館が徒歩圏内にあり、更には日産スタジアムや横浜中華街など人気スポットへのアクセスもよく、非常に賑わいを感じます。

そんな賑わいを見せる新横浜駅ですが、駅直結でイベントや観光前後に足を運びやすく、世界的なインテリアデザイナーによる快適な空間の客室は賑わう街中で安らぎを感じるホテルアソシア新横浜様は大変お勧めです。



15th Anniversary
HOTEL ASSOCIA
15年の感謝 つなぐこれからも
Journey to the next stage



HOTEL ASSOCIA
SHIN-YOKOHAMA

■ホテルアソシア新横浜

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-100-45
(JR新横浜駅直結)

TEL 045-475-0011(代表)



▲客室フロアは13階～19階。客室数203室
チェックイン14:00 チェックアウト11:00
ゆっくりとおくつろぎ頂けます。



◀ロビーフロアには様々な飲食店が並びます。
朝食は向かいのロイヤルホストでビュッフェをお楽しみいただけます。

(株)ジェイアール東海ホテルズ
ホテルアソシア新横浜

総支配人 加柴 一巳様



今年の4月より、弊社の設備管理業務を新日本ビルサービス様と一緒することとなりました。早速、こちらの伝統ある社内報でご挨拶ができますこと、大変光栄に思っております。

さて、弊社は、名古屋マリOTTアソシアホテルをフラッグシップに、名古屋、高山、豊橋、静岡、新横浜で合計6ホテルあり、高山は風光明媚なリゾートホテル、その他のホテルは各拠点駅から直結しておりますので、皆さん是非ご利用ください。その中でホテルアソシア新横浜は、唯一関東エリアにある宿泊施設メインのホテルとして、日頃より多くの皆様にお泊りいただいております。

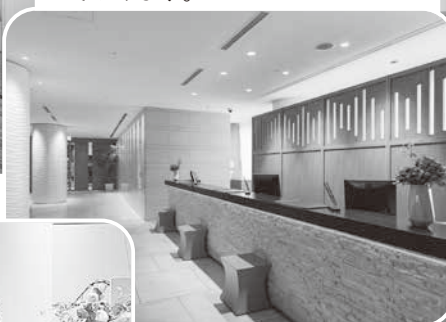
「存じ」の通り3年間続いたコロナ禍で、ホテル旅館業界は大きな打撃を受けましたが、今年の5月よりコロナが5類に移行され、以前の状況を取り戻しつつあります。2008年に弊ホテルが開業して以来、お陰様をもちまして今年で15周年を迎えており、話題の相鉄東急直通線の開通で新横浜の利便性が向上したことも追い風となり、RESTARTの年として、スタッフ一同さらにご満足いただけるホテルをめざして頑張っております。

最近の大きな変化は、外国人ゲストが大幅に増えたことです。全体の40%が海外ゲストで、主にアメリカやドイツからのお客様が多いことが特徴です。羽田空港から30分、渋谷まで新線開通で約25分、海老名まで約35分、新幹線で京都まで2時間のハブとなる地点に位置している利点を活かし、インバウンドの再来とともに新横浜は益々の盛り上がりが見られます。ホテルの設備は、人間に例えると日々の健康に注意しなくてはならない内臓のようなもの。開業15年で経年劣化が否めない見えない部分を、その道のプロにチェックしていただき、一緒にビルの健康を管理していきたいと思っております。

新日本ビルサービス様の設備管理業務とホテルの仕事とは、異業種のように思う方もいらっしゃると思いますが、業種を超えて共感する部分がありました。5S(整理、清掃、整頓、スマイル、さわやか)の精神を大切にいらっしゃるお話を伺い、基本的な部分でのつながりを感じました。ご担当の方もいつもさわやかに挨拶いただき、気持ちよく仕事させていただいています。一事は万事といいますが、働くスタッフ同士も気持ちよく働く気遣いが良い仕事を生み、しいてはホテルにご滞在いただくお客様も心地よさにつながるものと感じております。これから信頼と実績を築き、1+1が2以上になるパートナーシップを歩んでいきたいと思っております。



◀ 宿泊者専用のフィットネスルーム。24時間自由に利用可能です。



▼ 大理石のフロント・ロビーは新横浜駅の改札からエレベーターで直結しております。



▲ 宿泊者はラウンジを無料でご利用いただけます



◀ 横浜支店の若いメンバーで誠心誠意頑張っております!!!



◀ モダンなインテリアの客室。横浜を一望できる夜景も大変素晴らしいです。

真理を追究する学び舎

明治学院高等学校

校長

徳永

望様

事務長

神崎

貴伸様

1 徳永校長先生のプロフィールと教育者としての歩み

— 徳永校長先生の生い立ち、学生時代のエピソード、明治学院高校教師になられた経緯、教育者としての歩み、特に大きな転機になったことなどがあればお聴かせください。 —



▲明治学院高等学校校長 徳永望様
明治学院の多様性を体現する新校長に就任されました。

子ども時代、父の仕事でカナダのトロントという街で過ごしたのですが、

そこでの小学校生活というものが非常に強い影響を私に与えたなというふう

に感じております。

トロントは大変大きな街で、学校も都会の学校だったのですけれども、大変広々とした敷地で芝生があつて、林があつて、なおかつ、いわゆる柵とかがないんですね。そのまま歩いていたら、ずっと遠くまで学校の敷地で、いつの間にかやらシヨッピングセンターにつながっているという。全く柵がない所ですから休み時間に林の中に入って遊んでいると、学校のベルが聞こえなくて慌てて走って戻ったりしたこともありました。

そこでは1年生のクラスに18人11か国の人間がいたんです。だから本当に多様性そのもので、いろんな子がいました。私も入ったときは英語が話せなかったのですが、そんなのは当たり前で「話せない子もいるね」という感じでした。11か国の生徒がいて、宗教も様々で、キリスト教だけでもプロテス

タント、カトリック、ギリシャ正教、ロシア正教がいました。

ギリシャ正教の子なんかは肌をあんまり見せたくないもので、ロングスカート履きスカーフを被って学校に来るんですね。ヒンズー教もイスラム教も仏教もいて本当にいろいろ。それぞれの宗教のお祭りのときには飾ってくるので「今日は何？」って聞いたら、今日は何とかのお祭りだって言って。みんな違うのが当たり前でそこは非常に面白かったですね。

教室の風景も、日本の教室の風景とは全く違って、カーペット敷きの広い部屋に丸テーブルが点在していて、一斉授業という形ではないんです。お昼休みに一度家に帰るんですけど、登校時、お昼の帰宅時、それから午後帰る前に、一度全員が先生の前に集まる以外はグループごとに習熟度別というふうな感じでした。レハル別に「Aグループの子集まりなさい」と言ったら、先生の前に集まって。それ以外の子は何をしているかというのと、それぞれの勉強をしているんですね。

カーペットに腹はいになつて本を読んでいる子もいれば、教室にある視聴覚のブースに入つてヘッドホンで物語の朗読を聞いてたりとか、日記を書いている子もいるし、絵を描いている子もいるし、それぞれ自分に必要なことをし

ていました。算数とか分からないところは大人のサポーターの方が回って教えてくれるということが当たり前という環境でした。

とにかく楽しかったです。学校が楽しくて、お勉強するのも楽しくて、本を読むってこんなに楽しいんだなとか。それが「学校」だったんです。競争するということもあまりなかったですね。

あと印象に残っているのは体育の授業ですが、すごく寒い所だったので、冬はスケートになるんですがまず最初に何を習うのは人命救助の方法なんです。プールの授業ではまず第一に人工呼吸の方法を学ばし、冬になると凍った湖とか川でスケートをしたりもするので、穴にお友達が落ちたらどうするかって、まずそこから始まったんですよ。どうするかをみんなで話し合うんですね。立って歩いてたら駄目だ、腹はいになりなさいと。腹はいになつて、長い木の枝を持ってきなさいと。できるだけその穴から離れて、薄くなっている所を離れて、木の枝を差し伸べて引き上げるんだと。そんなことから習うんです。

つまり、命を大事にする。まず何よりも、技能を高めるよりも、命を大事にするっていうことから始められたんです。それが非常に印象に残ってい

ます。運動会はないんですけれども、スポーツデーとかいうのがあって、本当に楽しくゲームをするんですね、体を動かしながら。そういう学校教育を受けてきて5年生で日本に帰ってきて、みんなで前を向いて「起立、気を付け、礼」でしたからちょっとびっくりしたんです。

— カナダのときの3年間の学校生活が強烈な原点になっているんですね。—

そうですね。学びつつというのは、まず楽しいものだったという。学校行くと本当楽しいんだという、まずそこから始まったので、日本に帰ってきて勉強、宿題って嫌なものだったというイメージが強烈にありましたし、実際自分もそんな風に思ってしまったのですが、本来は学びは楽しいものだという、思いはずっと強く持っていますね。

明治学院に来たのが1995年です。実は阪神淡路大震災のあった1995年1月17日(火)が明治学院の最終面接の日だったんです。当時関西に住んでいて、2時間ちょっとで帰れるので面接当日に帰る予定をしていたんですが、週末に雪が降るといふ予報が出たんです。就職氷河期の年代ですから、新幹線が止まって間に合わなかったら採用されないと思い慌てて週末に帰京したんです。

そしたら17日朝、ニュースをつけた

ら阪神淡路大震災が起こっていて。関西の方に親戚も友人もたくさんいましたので、非常に驚き心配しました。

私はクリスチャンですから、たまたま早く帰ってきて明治学院の試験を受けることができ、採用していただいたことは神様が「来なさい」「ここに行け」「明治学院にいる間は精一杯仕えなさい」と言ったんだなというふうに思っています。

それで降すつと明治学院で働いています。—
— いづぐらいから教師の道を志したのですか。—

小学校時代の強烈な体験と、日本に帰ってきてのギャップというものもありましたし、あとは中学時代の恩師が非常に印象に残る方で。あの当時の中学って体罰とか当たり前だったんです。公立の中学に行きましたから。ちょうど80年代です。本当に体罰はすごかったんですよ。ちょうど学校が荒れた時期の直後だったので、抑え込むために先生たちは、ばんばん生徒たちを殴るわ、たたく、正座はさせるわで、今思えば人権侵害だなと思うようなことがいっぱいあって。

その中で、私の担任だった女性の先生だけは絶対それはやらない。そこは他の先生は、女性でもみんな手出ししてましたから。それも絶対にやらないっ

て、そこを貫いていたんです。でも、じゃあ、その先生はなめられるかっていうとそうではなくて、非常に凛としていて力がある方で、なおかつ授業が非常に上手で大変分かりやすかったんです。みんな尊敬したんですね。だから、手は出さないけれど、あの先生の前では悪いことはできないなど。とても憧れの女性の先生で、その先生を見て、こういうふうな力に抑えつけるのではない教育を見習いたいなと思って、教師を目指そうと感じました。ですから結婚式にも来ていただいて、ずっと交流が続いているんです。

— 28年の教師経験の中で、何か大きな転機になったようなことはありませんか。—

やっぱり大変な生徒を担当した年で、その子たちとの出会いってというのは非常に強烈でした。今でもとても心に残っているのが、いわゆる暴力事件に加担したということ。無期停学になった生徒がいました。その子は他校をやってきた子だったので年も上だったんです。当時はまた夏季学校で山中湖に行っていたので、私は富士山の登山をして、下りてきて、その足で家庭訪問に行ったりして。大変だったんですけども、無期停学ですから何度も家庭訪問に行くんです。いろいろ話していくことによって彼も変化しだし、私も

変化しだし、非常に教えられることが多かったです。

その後、彼が卒業式に「俺のようなやつは、堂々と卒業証書をもたらさないといいと思う」と言って来なかつたんです。来ないところ、私が家に電話して「いや、おいで。とにかく卒業証書を受けようよ。ちゃんともらおうよ」と言っつのを聞いてたクラスの子たちが、彼が来るまでずっとチャペルの前で待ってたんです。あの姿は、忘れられないですね。始まる直前まで、教員はもう前に並んでるんですけど、クラスの子どもたちが入場した後も他の子が入場した後も、1人男の子がずっと待っていましたね。

走ってきたんです、例の少年。人騒がせな面倒くさいやつなんですけど、2人でそろって、ばあつとチャペルに入ってきて、あの当時G組だったんですけど、G組の席に2人座ったのを見たとき、いや、すごいなって。それと私にとって卒業式が終わったようなものです。その後のことは、あまり覚えてないんですけれども、その子だけじゃなくて、その周りの子にとっても彼という、ある種問題児がいることが実はものすごくいい力になっていた。その周りの子たち、特に最後まで待っていた子は、普段そんな目立たないんですけれども、そういう最後まで友達

を待つ、自分の卒業式に遅れるかもしれないのについていう、そういう姿勢を見せてくれたことが本当忘れられないなど。教えられることばかりでしたね。

2 明治学院高等学校の理念と特色

明治学院高等学校は日本で最も古い学校のひとつで、最も古いキリスト教学校として、生徒一人ひとりの個性を尊重するキリスト教教育を貫く学校として知られています。

校長挨拶の中で語られた「真理はあなた方を自由にする」という言葉にひびくように共感しました。

「制限の多い学校生活の中で委縮することなく、限られた空間の中でも自由闊達に高校生活を楽しんでいる明治学院高校の生徒たちを見ると、何ものにも邪魔されない自由な精神を持つこととの強さを実感します。世間の価値観や常識は時代や社会的背景によって変化しますが、人間にとって本当に大切なものは変わりません。その、普遍的な隣人愛と真理を追究することによって、私達は本当の意味で自由になるのです」

ここに集約されていますが、明治学院高等学校の理念と特色を聴かせてください。

明治学院はキリスト教の教えを土台

としている、そこは確固としてありますので、そこから聖書の言葉を教育の基本としている。その中でも、特に「真理はあなたがたを自由にする」という言葉と、「隣人を自分のように愛しなさい」という言葉、その二つを非常に大事にしてきました。明治学院の教育、明治学院高校の教育は何だと言われたら、その二つの聖句ががちり土台にしてあるなど。そこから派生して教育と言ってもおかしくないかなというふうに感じます。

キリスト教って愛の宗教だといわれて、愛するということをとても大事に考えている。そういうられるんですけども、その愛っていうのは甘ったるい愛ではないと。むしろ深い意味での愛情。時には叱咤激励される愛情だし、深く思考しなさいと、深く考えなさいということを求められる愛情でもある。ですから、そういう愛情がある教育であるべきだし、そして、その中で受け身の立場ではなくて、むしろ自分自身から、正しいことは何だろう、真理は何だろうと追い求めていく。それを追いかけて学んでいくっていうことが大事なのではないかなと思います。

それを真剣に追い求めることで、学習もある意味でその一環ですよね。いろんな科目あり、いろんな科目があったら、教科書から私たちは学びますけれども、

でも、字面を追っただけではなくて、じゃあ、そこに隠された真理は何だろうと、何が大事なんだろうかというところを考えた上で、学び続ける。それを追究することによって、本当の意味で自由になるのかなと思っています。

教科書の、例えば何かを覚えるとか、年号を覚えるとか、そういうことだけを指した学習であるんだしたら、非常に窮屈です。なおかつ、ある意味ではそれができたから達成できてしまう。目標がある意味はつきりしてきますよね。大学合格とかいいたら、合格したら目標達成になってしまっけれど、高校での学びってそんな単純なものではないだろうなと。もっと真剣に真理を追い求める。だから、答えは出ないかもしれないけれど、あと、すぐに達成できないかもしれないけど、でも、そういう精神を、真理を求める精神を持ち続けるっていうことを教えるのが大事なの



▲風格を感じるレンガ積みの新校舎。

▼ラーニングセンターは図書館・多目的教室・情報科室・国際交流ラウンジセンター等が統合されています。



▲自由に使える空間が生徒たちを豊かにしてくれます。

かなと。本当に「真理はあなたがたを自由にする」という言葉がこの学校の土台だなと思っております。

明治学院高校の生徒は、その自由について、髪の色を変えたりとか、制服を着崩したり、そういう自由だといふふうに勘違いしてるんですよ。それは違います。そんな表面的な薄っぺらい自由じゃなくて、もっと精神の自由、思考する自由、そういうものを大

事にしてほしいなと思ってるんです。

3 神崎事務長のご経歴と事務長としての役割について

私は大学を卒業して民間の金融機関銀行に就職しまして、25年ぐらい銀行員をやっております。

そして、5年前の2017年に当時で言えばお取引先様の「明治学院さん」が高校の事務長を求められてますよというところでこちらに来ました。

基本的には銀行員といえは金貸しというイメージをお持ちなのかもしれないんですけども、20代の若い頃は駆けずり回ってご融資の話をもちろんやりました。30歳過ぎてからは本部が長く、人事もやりました。人事の中でも採用もやりました。そのあとは銀行の中期計画とか長期計画の企画、どこに力を入れるか入れないかなど業務のポートフォリオですね。

それから、企画の管理職や人事部の中にある研修所の仕事もやりました。銀行の中で沢山の仕事をさせていただったので、新たな学校で事務の世界についても戸惑いはそれほどなかったですよ。

良い悪いはちょっとさておき、銀行というのは組織が大きいので分業化が完全に進んでいて、管理職は基本的に

いわゆる担当者の仕事はやらないんですよ。学院の事務長はマネジメントを行っていうことでしたけれども、マネジメントだけじゃなくて、プレイングマネージャーとして幅も広いですし、業務も多いんで、今いるスタッフだけではどうしても隙間ができてしまますので、そういったところを取りこぼさないようにやっているつもりです。プレーヤーを何十年かぶりでやってみて、学校法人としてこういう業務の積み重ね、実務の積み重ねがあるんだなというのは一から勉強になりました。

— 徳永校長先生からすると、事務長が来られてから、どのような変化が出ていますか。—

変化は大きいですね。それまではみんな同じ立場だったので、いわゆる事

務職の中の管理職という者はいなかった状態で、副校長が兼任してた時期はあったんですが、副校長は教員からなった人間なので、事務室のことというのは根本的にはなかなか難しいですね。ですから、事務職の管理職として来てくださったっていうことで、それまではなかったマネジメントが行われるようになったわけです。

みんな同じ立場で分業体制、合議制といった、良さはあったかもしれないけれども、事務室は人数も少ないですから非常に難しい部分がありました。そこをちゃんとマネジメントしてくださる方がいらっしゃったっていうことで、すごくすっきりしましたね。

もちろん校舎建築は前の体制でもとても難しかったと思いますし、本当に事務長が来てくださったって、それで乗り越えられたというか、校舎が建ったなと思えました。

4 新校舎竣工までの長く困難な道程と、竣工後の変化について

— 新校舎の建設は30年近く議論検討が重ねられ、幾多の困難を乗り越えて、2022年7月30日に見事に竣工しました。多くの先達の悲願が実現した道程をお聴かせください。

ラーニングセンターを始めとした学

び成長するキャンパス環境の飛躍的上は、生徒と教職員の皆さんにどのような変化をもたらしているかお聴かせください。—

徳永 私はいわゆる建築のコアな中にいたわけではなくて、あくまでも外から、一教員として流れを見ていたという状況でしたけれども、確かに、私が赴任した1995年に校舎を建て替える話がありました。それでいろんな学校が、当時新しく建築をしたときにみんなで見学に行ったりしていたので、すぐにでも建つような話ばかりだったんです。

ところが、教員たちの烏合の衆でしたから、理想とは違い全く具体的な流れにもならず。資金もありませんでしたから。それから大学との間にこの敷地を高校が使い続けることに対してどうなのかという意見も一時はあつたらしく、大学との関係も決して悪くはなかったと思うんですけど、いろんな調整が必要だったんだろうなと。

ですから、本当にいろんな夢のような話が何度も出てはなくなりという、ごちゃごちゃぐちゃぐちゃしてる中で、ようやく2000年に、本格的に委員会ができて、それできちんと系統立てた話し合いが進められ具体的なようになってきて、17年に事務長が来られてからは割と本流に流れがはつきり分かるよ



▲熱誠あふれる神崎貴伸事務長

うになりましたね。

理事会をちゃんと説得しなければならなかったし、ブレーキがかかったときもあると聞いておりますので、ずっと私の前の方たちは大変な思いをなさってきたなと思います。私はこれがまさに始まった後に就任しましたので、おいしいところ取りというが、アンカーのような形で、出来上がったものところに、「ぼん」と入れていただいたので、本当に先輩たちのご苦労は並大抵ではなかったなと思います。

神崎 私がいいなと思ったのは、まず在校生ですね。この校舎で学べるという喜びや誇りというものがみんなの顔に見受けられる感じがします。自分たちがこの校舎で学べる最初の明治学院高校生になるということで、すごく意識が高揚しているという感じを受けますね。

もう一つは卒業生ですね。先週の土曜日もたまたまイベントがあったんですけども、たくさん、卒業生が来てました。社会人、大学生も含めて、旧校舎のときも来てましたけど、自分たちが卒業した学校が今どういう風になっているのか見学したいですということ、来てくれるので、そういうのもすごくいいなと思っています。

父兄の方にはコロナの時期は、ご来校を差し控えさせていただくようなこと

もありましたけど、今年はそういうこともなく、入学式では前庭、フロントヤードが保護者でいっぱいになりました。

ここで学べるという安心感をご提供できたことは本当によかったと思います。

徳永 今いる子たちは、やはり誇らしそうです。第1期生という、非常に自信があるという。自分たちが最初に使ってるんだという。それは非常にうれしそうです。

あと、この校舎の空間として、目的のない空間がたくさんあるんですね。目的が定められてないと言いますよ。各階の学年ラウンジというものがありますし、エントランス入った後、情報ラウンジという、地階に行ったらそこはまた少しテーブルがあったりして。何とか用の部屋って、定められていない空間があっちこちにあり、廊下にもちよっとしたベンチがあったりして。もちろんその前のクラスの子が使う場合が多いんですけど、でも、そうじゃない子も座ることができるとか。そういう空間が、本当に生徒たちを豊かにしてくれているというか、いろんな使い方をするんですね。

そこで創造性が育まれ、またちょっと開放される。教室だと勉強する空間とか、特別教室だとこれをやる空間っ

てはつきり定められている。そこに行くことをするというのがモードになるけれども、何でもない空間っていうことで、ちょっとのんびりしてみたり、おしゃべりしてみたり、考えてみたい。あと、授業のグループ学習などでも使えますし。生徒同士、生徒と教員、いろんな話し合いもできるし、そういう空間があることで、生徒たちがどこかゆったりしたなど。仮設の3年間は狭い中におりましたから、そこからのギャップもありますけれども、旧校舎から比べても、生徒は非常にのんびりと、自分の時間を過ごすことができるようになってるなという、そういう印象はありますね。

5 新日本ビルサービスの評価と期待すること

徳永 朝大掃除をしてくださっている方たちを拝見して、本当にすごくいいなと思います。多様ななと感じますね。いろんな方がそれぞれの形で精いっぱい働いてくださっているということが素敵だなと思いますし、海外から来られた方も沢山いらっしゃいますね。皆さま、日本の文化に入ってきて、お分かりにならないことも沢山あると思いますが、その方たちをきちんと指導なさって手際よく働くように、

マネジメントなさっている。それは素晴らしいな。だから、朝、とにかく気持ちいいんですよ。朝、部屋に入るときにお姉さんがいて、「おはようございます」って言うてくれると、1日始まるなと気持ちよく思うので。多様性をちゃんと受け入れて、会社の一翼として大事に育てていらっしゃるなっていうことは素晴らしいなと思いますので、本当にこれからも生かしていきたいらありがたいな。

神崎 高校はある程度予定が決まっているのですが、1年間、1カ月、1週間を通して、そういうことに対して先回りしていろいろご準備いただいた、シグナルを発していただけたということ、それが非常に助かっています。もう一つは、先生方から直接お受けになられる要望に幅広く、柔軟に対応いただけていると、こういうことも非常にありがたいですね。

6 仕事と人生において大事なこと

徳永 仕事と人生、教員として大事にしたいなと思うことは、自分が生きる上でも、とにかく何事に関しても必ず良いこと、温かいこと、楽しいことが必ずあるので、それを見つかることですね。幸せ探しているふうには自分では考えていますけれども。例えば生徒

には、本当にいろんな生徒がいますし、大変なお子さんもちろんです。必ずいいます。でも、その子の中で、必ずいいたいところ、それをとにかく探す。

あと、保護者の方でも、時には非常に強いお言葉で、強い態度で来られる方いらっしゃいますし、ましてや、私のような女性で、そんな大きくもなくたっていうと、本当に強くなるから来られる方もいらっしゃるんですけど、でも怒鳴られることもありですが、そういう声の中にも、どこかにその人なりの、時には悲しさとか、つらさとか、それを分かってほしいって思うのか。だから、それを分かり合うことによつて、ふっと和らぐこととか。必ずそういう良さが出てくる。修羅場の中にも良さがあるといふか、温かさが出るし、あと、何度も話し合っていく中で良さが見えてくることもあるし、生まれてくることもあるし。何事にも、必ず良いことがある。温かいことがある、誰にとつても、どのような状況でも。

それこそ子育てしている中でも、本当にいろんなことがありますけれどね。その子育てと、今の仕事の両立なんてあんまり実はできてないんですけど、でも、その中にも何か良き、真実があると。そう信じないとやってけないですね。

神崎 私はもともと銀行にいて、そういうのは染み付いちゃってるからだと思っんですけども、とにかく時間を大切にしたいって思って、ずっと若い頃からやっています。つまり、ビジネスの世界では、同じ成果を上げるんだら、とにかく時間をかけずに仕上げらんだけっていうことに執着して、仕事をしてきたような生き方だったんで、それが、染み付いちゃっているんで、今でも基本的な考え方は、そういうことなんでしよう。

社長もおっしゃいましたけれども、一期一会というか、ワンス・イン・ライフタイムといいますがね。今は一生の中でも1回しかないよということですね。これを大切にしたいなっていう思いが、年を取るにつれてすごく強くなりました。ですから、仕事も毎日やる仕事もあれば、毎週やる仕事も、毎年ある仕事もあるんですけども、とはいえ、それは毎回違う仕事なので、だから、一生の間でもそれは1回しかない仕事でしょうし、人との出会いとかそういうのもそうだと思うんです。特に仕事に関して言うと、1回しかない仕事だと思って取り組みたいなということでしょうか。ますます、自分も年を取ったなと思います。**関根** 何をおっしゃいますか。生涯青春ですから。



▲念願の新校舎が竣工した明治学院高等学校の理念「真理を追究する学び舎」を目指し、共に挑戦してまいります!! 徳永校長先生と神崎事務長を囲んで生涯青春!!

現場訪問

ザ・マーケットプレイス相模原事業所



東京営業部 主任 中山 耀太

ザ・マーケットプレイス相模原は、食品スーパーのヤオコー様をはじめ10店のテナント様で構成されている商業施設になります。2018年10月から当社にて日常清掃がスタートしました。さわやか社員さんの在籍は3名、朝2時間、夕方2時間の1名ずつ出勤、主に共用部であるトイレ清掃・外の掃き掃除・ゴミ回収作業などを毎日行っております。

多くのお客様の皆様に快適にお過ごしいただけるよう、さわやか社員一丸となって頑張っています。

現場での取り組みを紹介します!!!



▲高所のホコリ取りもバッチリです。



■さわやか社員 小川美佐子さん

定期的に高所のホコリ取り、小便器のマット清掃、洗面台下のパイプに溜まってしまうホコリ取りなど、みんなで手分けをして作業をしています。ご来店されるお客様が快適にご利用

いただけるよう、清掃を心掛けています。

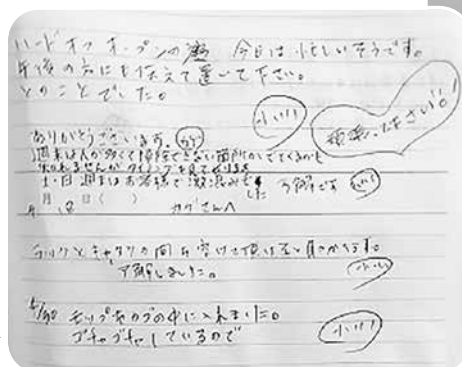


■さわやか社員 高橋典子さん

1日1名出勤のため、ノートなどを使って今日起きたことなどを共有することを意識しております。

みんなが仲間のためを思って、書くことで知らなかったということのないように気を付けています。

伝言ノートの活用で▶
情報共有しています。



▲目皿の裏までピカピカに磨き上げます。



■さわやか社員 鹿毛三保子さん

先日社長から誕生日にお手紙をいただきました。そのことがうれしく私もお手紙を送らせていただきました。ただただ感謝の気持ちがあったからです。楽しくお仕事できることに感謝。温かい心遣いや優しいお言葉を掛けて下さり元気を下さるお客様に感謝。

社内報や月報でお仕事を頑張ってらっしゃる現場の方々の様子や、職場や会社の色々な話や情報を知ることができると、私も微力ながら少しでも会社に貢献できるよう頑張ろうという気持ちになります。

ワカバウォーク事業所

さわやか



所長 野村 忠史

ワカバウォークは2004年6月にオープンしたテナント数56のオープンモール(複合施設)です。

2014年の4月から新日本ビルサービスが統括管理を開始。所長、設備管理員、事務員、警備員、清掃員全てが新日本ビルサービスの仲間です。私を始め、全員派手な仕事は得意ではありませんが、じっくりと取り組んでいる事が継続的な信頼に繋がっていると思っています。

「この作業は会社の、現場の役に立つ。これなら私にも出来そうだから考えて先回りしよう」「忙しそうだからやっというてあげよう」など、相手にも自分にも成果のある仕事をしています。「個人の満足」を考動して見出していけるような職場だと思っています。

よく、最優秀現場賞にエントリーしないのかと言われますが、毎日変わらず笑顔で仕事に来てくれる事を表彰して欲しいですね。いつでもワカバウォークのさわやか社員さんは「最優秀」だと思いますよ。



■清掃責任者 増淵 匠さん

ワカバウォークは清掃・PM・警備が三位一体となって作り上げている施設です。

例えば、救急車の誘導が必要になった時、警備さんがいなければPM設備員や清掃責任者がフォローに回り、正常な運用を維持しています。警備さんも、施設巡回時ゴミ袋を持って目立ったゴミを拾ったり、見落としした清掃箇所を報告して頂き美観維持に努めてくれています。

設備さんも、経験豊富な方々なので分からないことにも親身になって対応して頂いております。清掃そして出来ることプラスαで何かできることはないか？を、念頭に置いて業務にあたっています。

個人的なことですが、少しでもお役に立てれば働いている実感を感じます。部署は違いますが、同じ現場の仲間として成り立っているのが安心感をもって勤めることができます。



■清掃副責任者 星野 卓実さん

働いている人がみんなを笑顔で明るくとても良い現場です。

一人一人が考えて行動でき、意見を言うことかできるため、私もとても充実しております。

.....



■さわやか社員 森山 和子さん

とても広い職場です。ローテーションを組んで、みなさん、お互いに助け合い、支えあいながら働いております。年齢に負けず、元気にがんばっています。よりよい職場づくりをとがんばっています。



■管理事務所 藤野節子さん

それぞれの自分の持ち場、仕事に対していろいろ考えながらまた他の人の意見も用きなから、仕事に一生懸命励んでいると思います。私は管理事務所所属で、ワカバウォーク創立よりお世話になり、管理会社も4社目ですがに現在が一番充実して勤務出来ます。

これも支配人、周りのスタッフのフォローのお陰だと痛感しています。自分の仕事に責任を持ちながらも楽しく働く事が出来る現場ではないでしょうか。



5S取り組みを一部ご紹介いたします
★カート置き場をテナント様から出た廃材を利用して砂利地から出し入れのしやすい木製に変更しました。



セナラ川口樹モールプラザ店 グランドオープン!

ソリューション営業部 担当部長 加藤 義彦



当社が創業間もない頃からお取引させて頂いております株式会社コーフク様が川口樹モールプラザ内に4月18日 焼肉セナラ 川口樹モールプラザ店をオープンされました。

グランドオープン前のレセプションも参加させて頂きましたが、焼肉ソムリエが厳選した銘柄黒毛和牛を熟成管理・品質管理、熟練を要する手作業を大切にされて提供にこだわられており、料理・素材はもちろんですがスタッフの方の接客も素晴らしく、利用されたお客様にきっと「笑顔で幸福な時間」を提供してくれます。是非、大切な人をお誘いしてご利用してみてください。



◀▼私たちが素敵な空間とおいしい焼肉料理をご提供させていただきます!!



▲埼玉県川口市栄町3-13-1 樹モールプラザ 2F



開店を祝して乾杯!!▶

▼グラスを交わす株式会社コーフクの廉社長と関根社長。



▶店内は落ち着いた雰囲気、ゆったりとした気分で焼き肉を楽しめます。



ガッチリと握手!!



株式会社コーフク 営業部長 久保田 洋一様

この度、25年ぶりのセナラブランドを川口樹モールプラザに出店する事が決定し、セナラブランドをより多くのお客様へ知って頂くチャンスとその期待に応えるべく、チームが一丸となって営業しております。

新日本ビルサービス様とは長いお付き合いで、セナラグループを熟知して頂いているからこそ私の悩みもオープン前から相談させて頂き、非常に助けられています。

新規オープンで一番大切な事は、オープンした時の綺麗な店内を365日クレンリネスし、お客様へ常に「素敵な空間と美味しい焼肉料理」でおもてなしが出来るかが重要。我々がクレンリネスしやすいよう、今回様々な提案をして頂き常に綺麗な店内を維持できております。インテリア・ガラス・床・鏡のコーティングは効果があり感動しております。

今後とも新日本ビルサービス様と共にお客様に素敵な空間を提供して参ります。

かく じょう ぎょ るい
上 角上魚類 角上魚類ホールディングス株式会社
 柳下浩三社長退任感謝の会・柳下浩伸新社長就任祝賀会

2023年4月25日(火) ホテルニューオータニ長岡

▼多数の出席者の前でご挨拶される柳下浩三創業者兼名誉会長



▶ 熱意とユーモアを交えたお話に聞き入りました



▲左：中央運送㈱椎名幸子様、右：丸千代田水産㈱石橋秀子様からの花束贈呈で、満面の笑みの浩三会長と浩伸新社長



◀ 決意を語られる柳下浩伸新社長

▼各店舗の店長様と生涯青春！
 左より、さいたま中央店・佐藤様、つきみ野店・花原様、川越店・熊谷様、赤羽店・大谷様、取締役・岩元様、大宮店・高嶋様、関根社長



▲柳下浩三会長、浩伸新社長と生涯青春!!

品質開発部 環境衛生課 課長 鈴木 大陽



角上魚類様は、消費者に新鮮で美味しい魚介を安く早く提供されている、日本一の魚屋さんです。今回、柳下浩三創業者兼名誉会長の社長ご退任と柳下浩伸新社長御就任の祝典に、関根社長と共に出席させていただきました。浩三会長の人情と浩伸新社長の誠実さが随所に表れた、とても素敵で温かな会でした。

現在22店舗400億を越える業績の角上魚類様の真髄は、浩三会長の「お客様をもっと喜ばせたい」という純粋な思い、そしてそれを全店舗全従業員に貫徹出来ていることだと改めて感じました。それが「四つの良いか(鮮度は良いか、値段は良いか、配列は良いか、態度は良いか)」「買う心 同じ心で 売る心」という社心に表れています。どちらもサービス業の真髄を突いた簡潔な言葉であり、当社も都度顧みるべき教えであると感じます。これから鶴ヶ島物流センター開所や草加店OPENなど、浩伸新社長の下で更なるご発展をされる角上魚類様のお役立ちが出来るよう決意を新たにしました。

最後になりましたが、お招きいただきありがとうございました。



株式会社ナスパ様 開業23周年 感謝の集い

2023年4月8日(土) ホテルウエルコ成田

専務取締役 浅見 一廣

コロナ禍をセンターホテル成田、ミートイン成田を運営する株式会社ナスパ様の23周年感謝の集いにお招きいただきました。開催された4月8日は、3つのホテルがオープンしたおめでたい日です。感謝と記憶に残る素晴らしい催しでした。



期せずして、さわやか社員に表彰状をいただき大変恐縮しております。

客室がホテルの一番の商品だと肝に銘じ、引き続き快適な空間づくりに努めてまいります。



▲登壇される平山秀樹社長(左)・藤崎茂貴副総支配人(右)

センターホテル成田

所長 金澤 靖枝

この度は、すばらしい感謝状をいただきありがとうございます。

フロントスタッフの皆さんのお心遣いのおかげでコロナ禍でも、安心して働くことが出来ました。

先が見えない中でしたが、毎日お仕事がいただけた事だけでもありがたいことです。

日々宿泊していただくお客様にも感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張ります。



ミートイン成田

所長 松兼 昭美

フロントスタッフの皆様にはリネン回収などを手伝っていただくなど、感謝しかございません。お忙しい中でも、いつでも私たちにお気遣いいただきありがとうございます。

人員不足の中、ご迷惑をお掛けする事も多くありますが、宿泊されるお客様はもちろんのこと、フロントスタッフの皆様にも、安心していただけるお部屋をお届けできる様にスタッフ全員で頑張ります。今後ともよろしくお願いたします。



株式会社サビアコーポレーション 優秀取引会社表彰式



第二回サビアコーポレーション優秀協力会社表彰会



▲最優秀賞を頂きモチベーションアップにつながります！



▲緊張の面持ちの中村次長。「この度は最優秀賞を賜り誠に光栄に思います。今後も更にお役に立てる様、精進致して参ります!!」

株式会社サビアコーポレーション 代表取締役社長 守屋 正人 様



サビアコーポレーションは、創業記念日の3月25日にお取引先様に対して弊社の方針・指針をご理解いただき特に大きく業務の変革にご協力していただいたり、積極的に新規の内容に共に取り組んでアクションを起こしていただいたお取引先様を表彰することで、感謝の気持ちを表現したいと「優秀協力会社表彰式」を実施しております。

今年は、創業60周年の記念の表彰式でもありましたので、いままでの貢献度も加味して受賞会社を決めさせていただきました。

そんな中で、新日本ビルサービス様は、創業30年を迎える、いなげや・サビアコーポレーションになくはないお取引先様です。店舗数も56店舗の定期清掃をお願いしており店舗の店長の評価も毎回非常に高い状況です。

私どもの困りごとを親身になり聞いていただくとともに、一緒になって挑戦=チャレンジし、2022年にはコーティング仕上げへの取り組みをスタートしております。

関根社長と一緒に、まさに生涯青春でチャレンジしていきたいと思っております。

業務の安定感・これからの業務に対するチャレンジ精神、いつも刺激を頂ける本当のパートナー企業として施設管理部最優秀賞をお贈りいたします。本当にいつもありがとうございます。

宇宙の真理が教える、 仕事と人生の方程式

理学博士(理論物理学) 佐治晴夫様



音楽、物理、宇宙科学……と幅広い分野に精通し、様々な学校・大学などで教鞭をとられたのち、現在は鈴鹿短期大学の名誉学長に就任していらっしゃる佐治先生。ここまで読むと教育者一筋に見える経歴ですが、なんとトップメーカー研究所で、家庭用ビデオ規格VHSの3倍モードの開発や1/fゆらぎ理論の家電製品への応用、そしてNASAの客員研究員として、ボイジャー計画に携わるなど、研究者・発明家としての実績も数多く残されています。

そんな、人の何十倍も凝縮された人生を歩まれている佐治先生に、これまでのご経験のエッセンスを伺いました。

1 14歳までに決定づけられた運命

僕の経歴を見ると、なんだか幅広くて、お互いに関連がないように見える

かもしれません。しかし、僕の人生は、振り返れば14歳までの出会いですべてが運命づけられていたように思います。

2 戦火の中でクラシック音楽と出会う

1つ目の出会いは、昭和11年の二・二六事件がきっかけです。当時乳児だった僕の子守りをしてくれていた娘さんが、表通りの銃声に驚いて僕を抱いて押し入れの中に隠れたそうです。

その娘さんがよく歌っていたのが〈シューベルトの子守唄〉だったそうです。乳児ですから当時の記憶は当然なく、この話も母から聞いたものです。今でも『シューベルトの子守唄』を聴くと、なんだか不思議な気持ちになるのは、もしかして潜在意識として擦り込まれていたのかもしれない。クラシック音楽の洗礼を受けたということなのでしょうね。

次の出会いは、太平洋戦争中東京初空襲となるドーリットル空襲で、当時は日本中が真珠湾攻撃で勝ったとばかりの戦勝ムードの中でしたから、日本本土が空襲を受けたことで、世は騒然となりました。「やがて日本全体は火の海になる」と、人々が考え始めたのです。

そんな中、僕の父は『日本橋の三越』に、日本に数台しかないパイプオルガンがある。戦争で失われるかもしれない音色だから、聴きに行きなさい』と言ったのです。兄に手を引かれて訪れた当時の三越は、1階が礼拝堂のようになっていて、中2階のパイプオルガンの音色が売り場全体に響き渡る構造になっていました。その荘厳な音色に衝撃を受けましたね。あんな楽器がこの世にあつたのか!と。

目に焼き付いたのは、戦闘服姿——鉄兜を背負い、弾倉ベルトを体にまいて、腰から銃剣を下げたオルガニストでした。当時は軍国主義の時代ですから、演奏されるのは〈軍艦マーチ〉〈海ゆかば〉〈空の神兵〉といった、軍隊をたたえるような楽曲ばかり。そんな中で、ふと差し込まれたのがバッハの曲でした。当時日本は、ドイツが同盟国だったからこそ弾けたのでしょう。オルガニストは、東京音楽学校(現、東京芸術大学)出身者だったようなので、どうしてもバッハを弾きたかったのだと思います。

今思えば、これがバッハとの出会いでした。あの衝撃がずっとずっと心の中に残っていて、奇しくもその35年後、ボイジャーに搭載されたゴールドレコードにバッハの曲を載せようと提案することにまで発展したのです。さらにそれから42年後に、僕のライフストリーがプラネタリウムの番組になる際、僕はその曲の収録を、夜中の三越で弾くことになりました。ドラマですよね。なにか運命づけられていたように感じます。

● 恩師たちと天文学との出会い

ドーリットル空襲は、もう一つの出会いを生みました。空襲を受けて、担任の先生が「次の土曜、授業はしません。代わりに、君たちを連れていきたいところがあります」と言って、有楽町の東日天文館に連れて行ってくれたのです。そこには、当時日本に2台しかないプラネタリウムの1台がありました。

なぜあの時、子どもたちをプラネタリウムに連れて行ったのか?聞きそびれたまま先生は亡くなってしまいました。だが、推測はできます。その先生は、のちに作家として賞をもらうほどの文学者でした。先生は毎朝、授業が始ま



▲14歳までの経験が人生に及ぼす影響の大きさを実感した佐治先生は『14歳のための』シリーズを執筆。子どもたちに書籍を通じて希望を語り続けます。

る前に宮沢賢治の本の読み聞かせをしていました。宮沢賢治の『農民芸術概論綱要』に「正しく強く生きるとは銀河系を心に意識して、それに応じていくことである」という一文があります。他にも銀河鉄道の夜に代表されるように、宮沢賢治と星は切り離せない関係にあります。おそらく先生は「われわれの人生の目印は空にあるはずだ」という確信めいたものを持っていらっしやっただけではないかと思うのです。

自国が戦争で火の海になることが現実になろうとしている世界で、それを子どもたちに伝えたかったのだと思います。

さて、戦争が終わって二年、僕は中学生になりました。当時は戦地から戻ってきて、もとの勤め先がなくなっていたことから、戦後発足したばかりの新制中学には、もともと教員志望ではなかった先生方がたくさんおりました。その中に、国から助成金をもらって望遠鏡を買ってくださった先生がいました。夜、僕たちを校庭に連れ出して、大変高価な望遠鏡なのに「自由に見ていいからね」と信頼してくださいました。敗戦国で、財政難で、闇市が横行していた当時の日本で、よく思い切ったことをなさったと思います。僕は初めて望遠鏡で見た月に心を打ちぬかれました。大理石の彫刻のように神秘に満ちた月。にわかに信じがたい土星の景観、木星の縞模様や四つの衛星など。戦争と復興の時代に、良識ある大人たちの導きで全てを包み込むようなスケールの大きい宇宙に触れて、今の僕があると思うのです。

●**シューベルトが教育の道を照らした**
乳児の頃にできたシューベルトとの縁は、ウィーン大学で研究をしていた時にも、思わぬ形で僕に新たな出会い

をくれました。当時はドイツ語の会話を手軽に学べる環境が今ほどなかった時代だったこともあり、当初は日常会話にも苦労しました。周りを見れば天才ばかりに見えて、あせりがでてきたころ、近くに、シューベルトが最初に埋葬された墓地があることを知って、訪ねたことがありました。

その墓碑に刻まれたグリルパルツァーによる追悼の言葉に、僕の目は釘付けになりました。「ここにひとつの豊かな宝物を埋葬した。しかし、それだけではない。たくさん美しい希望をも埋葬した。つまり「もしシューベルトが生きていたら、私たち人類に与えてくれていたであろう、たくさんの美しい希望」を惜しむ讃歌だったのです。

僕はこの言葉から、人の生きる意味とは、希望を語り、人に希望を与えることなのだと気づきました。言葉が通じる、通じない、天才、凡才ではなく、いかに希望を語り、人に希望を与えられるかによって、人生の価値が決まる、ということですね。この気づきは、ずっと僕の頭の中に沈潜していて、この後しばらく研究一筋の生活が続きましたが、最終的には「教えるとは希望を語る」という考えのもと、多くの大学で教鞭をとることになりました。

3 人生を豊かにするには、 出会いを大切にすること

こうして振り返ると、14歳までの様々な出会いが、今の僕を形作っているのがお分かりいただけたかと思えます。しかし、ただ出会っただけで人生が豊かになるのではなく、その出会いをどれだけ大切にできたのが重要だと思います。

●同期が結んだ松下電器東京研究所との出会い

大学卒業後、東京大学物性研究所で研究していた僕は、財力でアメリカに敵わないのが悩みでした。というのも、アメリカでは実験装置をメーカーがつくっているのに対して、僕たちは手作りの装置で研究していたからです。なにか新しい成果を出しても、アメリカがいち早く規模の大きな装置をつくって追い抜かれてしまう。それを避けるためにアメリカのメーカーに装置の一部を外注しようとする、決裁が下りるまでにハンコが10個以上必要で、結局時間がかかってしまうのです。

その頃、たまたま出席した大学数学科のクラス会で、そんな近況を話したところ、「松下幸之助さんからの資金援助で日本初のシンクタンクをつくるから、来ないか」と、松下電器東京研

研究所に誘われました。これも、ものすごい縁ですよ。

当時の国立大学の助教クラスを全国から集めた松下電器東京研究所は、今思えば、夢のような研究所でした。

これまでの大学ではできないような研究ができ、ゼミは通常の大学院を超えるほど充実していました。外国との交流も盛んで、最先端のことができたのです。考えられないほど贅沢な時間で、活気のある研究集団でした。

4 VHS開発がつかないだ2人との出会い

更に幸いしたのは、その研究の中で、松下電器の社命を決する、ソニーとのビデオの最先端技術の開発競争を、どういうわけか僕が担当するようになったことです。ここで学んだことは数知れませんが、特に松下幸之助翁と会長室で一言一言交わした短い会話の中に、ものすごい学びがありました。翁は、普通は「なぜだ」と聞きそうなところを、「それで?」と促す魔法のような引き出す力のある人、という印象をもっています。また「できるかできないか、分からないと君が思うんだったらできるはずがない。やるんだったらできると思ってやれ」「やってみなきゃ分からないと思ったら、やってみなきゃ



い」という言葉も、長く僕の指針となりました。

また、もう一人、幸之助翁とともに松下電器を立ち上げた当時、技術最高顧問だった方も、ものすごい人でした。僕が担当したのは、VHSの時代を築くのに最も重要な磁気ヘッドの開発でした。その素材になる単結晶づくりは苦劳しました。東京研究所で単結晶のインゴットをつくり、出来上がり次第すぐに大阪に運び、その最高顧問にお

▲奥様・順子様とは、教鞭をとる中で生徒からの音楽に関する質問に何とか答えようと、答えを探している中で出会ったとのこと。これもご縁ですね!お二人の間の温かな信頼関係が、短い時間の中でも伝わってくる、理想の夫婦でした。

見せる日々。最高顧問は職人肌で、インゴットを手渡すとコツコツと表面を叩いていきます。音が違うのでしょね。「うん?どっかにひびが入ってるな」と、加工工場の工場長を呼んでインゴットを切断すると、実際にクラックが入っていたのです。

社運を賭けた、一分一秒を争う開発です。普通だったらその失敗に立腹するところを、「クラックが入った原因は何だと思えますか」と必ず敬語で質問するのです。材料を1200度で溶かしたものを徐々に冷やして結晶化させる過程で、その時の温度分布の変化についていけなかったのではないかと答えると、「ならば、その温度分布を測りましたか?」

と。「いえ、1200度で溶けた状態での温度分布は測定器が溶けるので測れないのです」と答えたら、「私は大学も出たらん。だけど、勘というものがあるんや」と言って、すぐに工場長を呼び、ダイヤモンドと同じくらいに硬いインゴットに強引に穴を穿ち、そこに測定針をいれて、計測可能な温度まで下げて温度分布を測り、そのデータ

5 VHSの功績が、自由な研究開発につながった

この功績により、僕のいた『基礎第3研究室』は『佐治研究室』という、当時の松下電器の中で唯一、固有名詞のついた研究室として独立しました。

これは望外の喜びでした。そして、当時、開発されたばかりで、今の牛乳パックくらいの大きさの携帯電話を僕に支給していたとき、「あなたは今後、居場所さえ教えてくれれば自由にしてください」とまで言っていただけでした。研究室の人事も含め自由にさせてもらえたのはありがたいことでした。

その後、社長が交代された際に、松下電器のテーマが『ヒューマン・エレクトロニクス』になりました。人の役に立つエレクトロニクスという意味のテーマに基づいて「一つ、何か開発してほしい」と依頼がありました。そこで選んだのは扇風機。その発想は、満

員電車に乗る女性でした。車内では扇風機から周期的に風が吹いてきますが、髪が乱れるからでしょうか、若い女性が恨めしそうに扇風機を見上げる様子を見て「こういうお嬢さんでも、美しい野山のそよ風のような扇風機だったら、心地よく思えるのではないか」と思ったのがきっかけでした。

そこで、1/fゆらぎの扇風機をつくることにしました。松下電器での研究の傍ら、継続していた、東大物性研での研究テーマである非線形統計力学——全て一定ではなくゆらぎがないと世の中は成り立たないという理論——の中で、実際に自然の風の変化を計測してみると、確かに1/fゆらぎになっていたので、これはいけると確信があったのです。実際、40億の大ヒット商品になりました。

6 「これから」が「これまで」を決める

この言葉を読んで、「逆じゃないか、これまでがこれからを決める」のではないか」と思った方も多いのではないだろうか。ましてや、今日の話は「僕の人生は14歳までに運命づけられていた」というところから始まっているから。……しかし、これでいいです。

当然のことながら、過去は変えられません。例えば、どこかの大学を受験して落ちた、という過去はどうあがいても変えられませんよね。ですが、その過去の『価値』は、「これから」の自分が変えていくことができます。「あの時にあの大学に落ちたから、今の私がある」と思えるような「これから」の時間を、過ごすことができるかどうかにかかっているのです。

今ある自分、というものは、昨日の自分、一昨日の自分……と、過去が集まり積み重なった結果として今、ここにあるのです。これからどのように生きていくかによって、その未来の結果は、良くも悪くも変わっていくでしょう。そこで、いい結果が出せたならば、どんな過去であれ、「この過去があったから今の自分がある」と言える。つまり、過去の価値は、これからの自分の行いで変えていくことができるのです。

「僕の人生は14歳までに運命づけられていた」というところから話し始めましたが、結局は、出会いを大切にしてきた結果、これまでお伝えしてきた過去の価値を、どんどん高めることができた——その時々の僕が「これまで」を決めてきたのが僕の人生なのです。では、これから「これまで」を変えたいと思ったらどうしていけばいいの

か。僕は「思うこと」をお勧めしたいです。『思えば叶う』とは、昔から精神論として語り継がれてきたことです。近年どうやら科学的にも確からしいことがわかってきています。こうあ

にしておくことで、出会ったときには思いもよらなかった道が開けてきました。人生って妙なものです。大変なことはあるけれど、定年過ぎてからが一番面白いですよ！

ろから考えていると、別のことを考えている時でも、無意識のうち

にそれらに関する情報が周囲にないか、脳が自動で検索するらしいのです。ふつと何かを見たときに「これ使える！」と

なって、それが積み重なって思いが叶うのです。

僕はいつだって「今さら」ではなく「今から」です。出会いを大切



▲「これから」が「これまで」を決める、という考え方は、まさに生涯青春の人生を送る秘訣だと思いました。ありがとうございました!!

入社しました！



新入社員研修



名刺交換の練習中



同期同士も打ち解けました！



研修の成果発表



齊藤 利旺(さいとう りお)



自ら学び心豊かに逞しく成長すること目指し、会社とお客様の双方が快適に環境作りを目標にして、様々なことに挑戦していきたくと思います。

杉田 竜也(すぎた りゅうや)



どのような仕事に対しても目的をしっかりと理解し、自身で考えて働けるような人間を目指したいです。これからよろしくお願いいたします。

鈴木 颯(すずき はやて)



清掃・設備点検・工事など総合的に学び、「挑戦」する気持ちを忘れずに努めてまいります。自身の成長に繋げる為、資格取得にも挑戦します。

服部 遥(はっとり はるか)



当たり前のことを当たり前だと思わずに、同期や仲間と切磋琢磨しながら更なるスキルアップを目指して日々努力し続けていきます！

松田 名央(まつだ なお)



様々な業務に従事し、総合的な知識と経験を身に付けることで自発的に考えて行動に移せる人材を目指します。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

宮里 開(みやざと ひらく)



今年1年の目標は資格取得や現場配属を通して、建物に対する理解を深めることです。資格取得を通して、設備への専門性を高めるだけでなく、学んだ知識を現場で活用できるように努力していきたくと考えています。

矢嶋 佑史(やじま ゆうし)



これからたくさんの現場、業務を経験していき総合力を身につけ、常にすべての仕事に興味と楽しむ心を持ち、社内やお客様から信頼される人材を目指して参ります。

片柳 歩生(かたやなぎ いぶき)



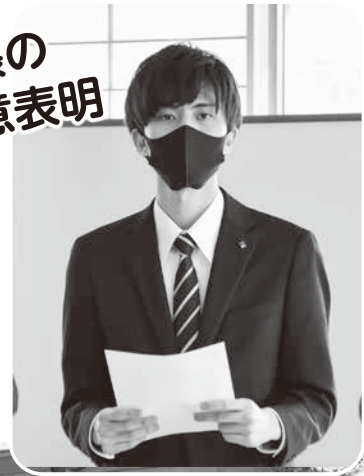
一か月の研修も終わり本配属しました。今はまだ仕事について覚えるのに必死ですが、どんどん会社に慣れていき、一人前になれるように日々努力していきます！！よろしくお願いいたします！！

31期生 14名が



入社式

緊張の
決意表明



よろしくおねがいします！



佐藤 ヒトシ(さとう ひとし)



今の自分に出来ることを精一杯務め、仕事を早く覚えられるように頑張ります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

佐藤 颯真(さとう そうま)



約1カ月間の研修では同期の皆さんや先輩方に助けていただきここまで来ることが出来ました。これから、沢山吸収していきたいと思いますので末永くよろしくお願いいたします。

島崎 駿(しまざき しゅん)



私の抱負は、「笑顔をもって仕事に真剣に取り組むこと」です。挨拶や会話は明るく笑顔を意識。業務に励み周りの方々と協力し、より良い環境づくり目指していきたいと思います。

埜 志温(はなわ しおん)



まずは資格取得を目標に、会社に貢献できるよう日々頑張っています。よろしくお願いいたします。

堀 龍一郎(ほり りゅういちろう)



本配属後も初心を忘れず、徐々に仕事に慣れていき自分で考えて働けるようになりたいと思います。期待に応えられるよう一生懸命頑張っていきたいです。

山田 唯斗(やまだ ゆいと)



この一年間は先輩方のアドバイスなどを参考にし、床材や洗剤について学び清掃作業の方法を覚えていきたいです。そして、一年後には先輩に仕事内容について教えてあげられるようになりたいと思います。



憩いのコーナー さわやか広場



大日本図書様 ご来社

2023年3月10日(金)



石田総務部長、萩原総務課長をお迎えして生涯青春!!大日本図書様の大事なファシリティマネジメントを共に担ってまいります。

ヤオコー様 ご来社

2023年3月14日(火)



店舗企画部 後藤執行役員と平谷部長を囲んで生涯青春!!ヤオコー様の店舗FMサポートでお役に立ってまいります!!

アスム様 ご来社

2023年4月25日(火)



アスム「明日の夢」に向けて挑戦する若々しい福原副社長、笠井本部長、渡部部長と共に生涯青春!!

関東菱油様 ご来社

2023年4月7日(金)



半世紀を超えるお取引を賜っている永年の同志 原口社長と小川副社長を囲んで生涯青春!!

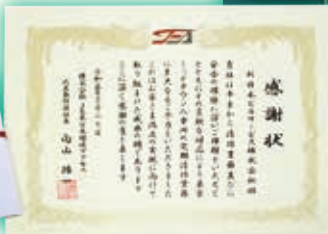
JR東日本環境アクセス様より感謝状贈呈

2023年3月27日(月)



生涯青春!!左よりJR東日本環境アクセス坂田課長様、橋本常務様、SNB品質開発部 小野田主任、萩原部長。

JR東日本環境アクセス様にご来社賜り、日頃の業務に対する感謝状を頂きました。



感謝状を直接頂けたことにとっても感謝しております。今後も技術を磨き、お客様のお役に立てるよう取り組んでまいります!!

発行日 2023年6月10日
発行所 新日本ビルサービス株式会社
〒337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮4-22-11
電話 048-667-3900 FAX 048-667-3663
ホームページアドレス <http://www.snb.co.jp/>
発行人 関根一成
編集者 SNB社内報委員会
印刷所 ㈱秀飯舎 〒331-0058 埼玉県さいたま市西区飯田70番地

編集後記

今年も4月に新しい仲間が入社しました。
新入社員の「これから頑張るぞ!」という意気込みと、先輩社員の「新入社員には負けていられない!」という思いが相乗効果を生んで、社内が活気で溢れています。
規制緩和でコロナ前の会社行事なども復活し、改めて対面でのコミュニケーションの重要性を感じているところです。皆さんはどうですか? (E.O)